

2024_0425「4月下旬のオーロラ（写真）」日々の理科 3549号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

今年は大陽活動が活発です。今日の午前中に、お茶の水女子大学構内で太陽（光球面）を観測しましたが、数えられる黒点だけでも10個以上が見えました。太陽黒点の多さはそのほか太陽活動の活発さを示し、それは北極圏でのオーロラの活動にも影響しています。

例年4月中旬に入ると昼の時間が長くなり、オーロラは全く見えないか、もし見えても消え入るような薄いオーロラが観測されるだけになるのが普通です。ところが今年は4月下旬になっても非常に明るいオーロラが見えています。写真も4月下旬に遠隔観測したオーロラですが、すでに明るさが残り始めている北の地平線上に、雄大なバンドオーロラが写っています。バンドオーロラの下縁部が桃色に写っていますが、これはオーロラを形成しているエネルギーが非常に強いことの現れです。

観測地は北緯67°付近の北極圏内ですが、例年4月下旬にはオーロラシーズンは終わります。しかし「この調子」でいくと、この地域では初の「5月のオーロラ」を観測できるかも知れません。私はそれを非常に楽しみにしています。

(2024年4月下旬／スウェーデン・ヨックモック郡・ポルユス／遠隔観測)

